

\*ここに掲載してあるのは合格ライン（60点）に到達するための「解答への指針」と「解答の要素」です。

論述試験では、正解は一つではありませんし、書き方や文章構成によっても評価が変わりますので、ご注意ください。

## 1 級論述必須問題

問 1 :

解答への指針及び解答の要素 :

- ・(根拠)「実家に戻るのであれば今の仕事は辞めなければならない」との発言から、社内での多様な働き方の可能性や制度などについての理解が浅いと思われる。
- ・(根拠)「法人営業 30 年の経験で何とか仕事は見つかるのではないか」という発言から、自分の価値観や強みや、それについての客観的評価などの自己理解不足が考えられる。

問 2 :

解答への指針 :

- ・CLが訴えていることを受け止め、表面上に出てくる問題は扱っているが、CCの専門家としての視点は持てていただろうか？  
この点を考えると、事例相談者の「問題」が見えてくる。

解答の要素 :

- ・(CLの訴える問題の奥にある) CLの気持ちを傾聴出来ていない
- ・CLとの関係構築が浅い
- ・CC(専門家)としての支援ポイントがつかめていない
- ・CLをとりまく環境への働きかけの支援が出来ていない

問 3 :

解答への指針 :

- ・CLの気持ちを丁寧に聴くことから始めたい

解答の要素 :

- ・「問 2」で挙げた問題をクリアできるような対応を具体的に記述していく